

2020年度 授業改善アンケート4Q 「教員コメント（学生に対するフィードバック）」

講義名	期間名	氏名	教員コメント
数学入門	4 Q	横山 哲也	板書及び話し方の工夫
基礎英語Ⅱ	4 Q	石田 暁子	この学期はオンライン授業が多かった。後で学生の感想を聞くと、オンライン授業は集中できないとの声があった。こちらからも学生の様子がわからず、通信状態にトラブルが生じたこともあったことが残念だった。
英語入門Ⅱ	4 Q	石田 暁子	出席状況、課題提出状況ともに良かった。そのせいか、期末試験の結果も予想より良く、成績に優劣をつける際に悩むことになった。
中国語入門Ⅱ	4 Q	村山 豊	今回は前回よりも新型コロナウイルスの影響を強く受けたため、感染症対策に留意して授業を行いました。あまり大きな声をださず、発音の練習を最小限度に控えました。中国文化に関する内容を増やしたので、学生たちは中国により興味を持ったようでした。学生の授業態度は比較的によく、真面目に授業を受けていました。出席率の高い学生が期末試験の成績が良いという結果になりました。
日本語Ⅱ（留学生）	4 Q	石田 暁子	ほとんどが未入国の留学生だったため、教科書を購入しておらず、準備に苦労があった。対面での試験ができなかったため、課題提出と発表を多くした。これは学生にとっても大変だったと思う。その分、日本語の能力向上になったら嬉しい。
健康科学	4 Q	尾西 則昭	+評価有難うございました。今回もまだまだ足りないところ指摘されておりましたので興味、関心を持って頂ける様改善、工夫に努めたいと思います。 ありがとうございます。
社会保障論Ⅱ	4 Q	大倉 司	オンライン併用の授業が多かったこともあり、学生さんの理解度を確認しながらの授業展開がなかなか難しかったことを反省しています。1年生には難しい内容を含む科目ですが、より関心を持ってもらえる授業展開を工夫したいと考えています。
人体の構造と機能及び疾病	4 Q	中村 則子	福祉職に必要な医学知識や国家試験問題を念頭において、理解しやすく意識していますが十分でないようです。特に伝え方は、今後さらに工夫をしていきます。
高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅱ	4 Q	櫻井 美帆子	途中から、遠隔授業となり、十分に学生の反応を考慮しながら授業の展開ができなかったことを残念に思っています。わからない部分等あったらいつでも質問してください
精神保健福祉に関する制度とサービスⅠ	4 Q	大島 康雄	聞きっぱなしの授業ではなく、相互に確認しながら理解度を深めていきたいです。
精神障害者の生活支援システム	4 Q	大島 康雄	生活支援システムは在宅生活を支えていくためにも重要な仕組みになります。ノーマラーゼーションの実現に向けたものなので興味を持ってきてくれれば幸いです。
民法	4 Q	大倉 司	オンラインでの授業に際して、資料の提示・説明などに丁寧さを欠くところがあったと反省しています。今後は六法での条文検索なども含めわかりやすい説明に努めたいと考えています。
子どもの理解と援助	4 Q	吉江 幸子	子どもの理解と援助の講義を真剣に聞いていただきありがとうございました。アンケート評価も高評価をいただき、今後の励みとなります、ありがとうございます。オンライン授業でしたので、自己理解のアセスメントで回答しにくいものもあったと思いますが、提出されたレポートを拝見し、自己理解を深めたことが伝わりました。このレポートを土台に自分の苦手・得意をどのように活用(改善) するかが大切です。今後も"プチ実技"を加えながら講義と実践を進めていきますのでよろしく願いいたします。
造形表現Ⅰ	4 Q	松岡 龍介	この科目は、将来、保育士として日常で必要となる造形表現（図画工作）の基本を学ぶ科目である。シラバスは、かなりスマートにまとまっているので、学生の真摯に学ぼうとする姿勢が問われる科目である。また、専門家としての保育士となる以前の社会人としての保育士となるために学生時代から、人と人の常識的な接し方や、対応する相手に対しての関係を学ぶ授業でもある。そして、人としての最低限の社会性を身につけてもらいたい。
造形表現Ⅱ	4 Q	松岡 龍介	コンパクトに纏まりがあった造形表現Ⅰとは、対照的に、比較的、時間的な余裕を持って、それぞれの課題を関連付けながら造形表現について、創作をとおして考えていく科目です。それは、「造形とイメージ」、「造形とあそび」、「造形と創作」のようなキーワードの内容を発展させることを目的としています。保育される側、保育する側、双方が、より有用、有意義な内容で、そして、何よりも、この科目がより楽しい授業であることを願います。

造形論Ⅱ	4 Q	松岡 龍介	この科目は、将来、美術やデザインの専門家として社会で活躍しようとする学生が、在学中に最低限身につけてほしい、知識や、見方、感じ方について毎回、テーマに沿ったレポートを制作することによって、書き言葉を含めた言葉として各自が“まとめ”る力を養うことを目的としています。したがって、内容は、広汎なテーマを設定します。また、本科目を受講するにあたり最低限の美術に関する用語の知識も必要になると思います。
保育の計画と評価	4 Q	吉江 幸子	保育の計画と評価を受講していただきありがとうございました。この科目は、保育をマネジメントするために必要な科目です。もちろん保育以外の分野で活用することができるPDCAサイクルを知る授業内容として展開しました。毎回の計画作成提出を欠かさずに取り組んでいただき、添削する側も力が入りました。日常の子どもの姿が思い浮かばないと計画立案は大変な作業だったと思いますが、今後3年次には現場を体験する機会があります。実践の場で「計画と評価」を思い出していただけると学びのつながりができます。授業に対する高評価をいただき、ありがとうございました。
応用数学	4 Q	横山 哲也	オンライン授業時のカメラ及びマイクの扱いの工夫
スポーツと栄養	4 Q	湯浅 頼佳	概ね良い評価を頂いたが、授業が遠隔と対面の混合だったの徹底していない部分も生じ、学生によっては理解不十分な点もあったようだ。今後その点もふくめ注意して取り組みたい。
ビジネス論	4 Q	阿部 裕樹	コロナ禍の影響で今年度よりオンライン講義が導入されました。今後、アフターコロナにおいても講義のスタイルは変わっていくものと思われます。Formsを利用した小テストは学生の理解度を確保するうえで有効でしたが、端末の問題で利用できない学生もいたため、放置せず解決するよう指導しました。オンラインならではの問題を解消し、学生が講義に集中できるように都度ヒアリングを行いながら改善していきたいと思っています。
コミュニティ心理学	4 Q	吉澤 英里	アンケートに回答をしていただき、ありがとうございます。これまでとは違う方法で、戸惑うことも多かったと思います。次年度に遠隔授業が継続されるかはわかりませんが、いただいたご意見を見つつ、より良い授業になるように改善します。
コミュニティ心理学	4 Q	吉澤 英里	アンケートに回答をしていただき、ありがとうございます。これまでとは違う方法で、戸惑うことも多かったと思います。次年度に遠隔授業が継続されるかはわかりませんが、いただいたご意見を見つつ、より良い授業になるように改善します。
教育心理学	4 Q	吉澤 英里	アンケートに回答をしていただき、ありがとうございます。これまでとは違う授業方法で、戸惑うことも多かったと思います。次年度に遠隔授業が継続されるかはわかりませんが、いただいたご意見をふまえて、より良い授業になるように改善します。
教育心理学	4 Q	吉澤 英里	アンケートに回答をしていただき、ありがとうございます。これまでとは違う授業方法で、戸惑うことも多かったと思います。次年度に遠隔授業が継続されるかはわかりませんが、いただいたご意見をふまえて、より良い授業になるように改善します。
特別活動の指導法	4 Q	後藤 哲	教員を目指す学生がほとんどで、学習への意欲は高い。一部意欲的でない学生も居たが（スマートホンを使うなど）、注意したが、集中力に欠ける学生も居た。試験については、良い成績を収めていたため、講義の理解はできていたと考えられる一層、理解しやすい講義に心がけたい。
基礎英語Ⅱ（遠隔留学生用）	後期	岡島 徳昭	毎回学生に問題を解かせ自主学習を促した。授業に関連する英文を多数引用し分かりやすい文法解説に努めた。今後の授業について、これまでの経験を踏まえ、さらに学生の興味を喚起できる授業の展開を目指す。
基礎ゼミナルⅠB	後期	櫻井 美帆子	途中から、遠隔授業になってしまい十分にコミュニケーションが取れなく残念でした。その分次年度は、担当教員ともゼミ仲間とも議論を楽しみながら行っていきましょう
キャリア支援演習Ⅱ（職業理解支援）	後期	大島 康雄	ご指摘いただいた点に関して改善できるようにしたいです。コロナ禍での開催となり不慣れな点が目立ったと思います。その中で学ぶ機会の保障や質の担保が出来ていなかったと反省しております。質問事項を設けておきながら返答がなされていないことや複数教員で運営している点で連携の不十分さや学生に合わせた学習環境の整備や合理的配慮に欠けていたことを改善できるようにしていきたいです。
心理学基礎実験Ⅰ	後期	吉澤 英里	アンケートに回答をしていただき、ありがとうございます。これまでとは違う授業方法で、戸惑うことも多かったと思います。次年度に遠隔授業が継続されるかはわかりませんが、いただいたご意見をふまえて、より良い授業になるように改善します。
専門演習ⅠB	後期	大島 康雄	全員が満足いくようなゼミにしていきたいです。そのためには個別対応ができるような取り組みをしていきます。

専門演習ⅠB	後期	吉江 幸子	オンラインや対面の併用など授業体制の変更で辛いこともあったと思います。それでも3年次で実施しておきたいところまでは到達したと感じております。4年次のゼミ・卒論に向けて準備を頑張りましょう、よろしくお願いいたします。
専門演習ⅠB	後期	西野 克俊	満足していただけたみたいでうれしく思います。今後もさらに精進したいと思います。
専門演習ⅠB	後期	畠山 明子	後期は学生の興味・関心に沿うテーマをそれぞれ設定してもらい調べ学習を進めてきた。一人一人に個別の指導の時間を設定し、レポートとしてまとめる上での決まり事や論点の絞り込みに関する指導を丁寧に実施できた。
立体構成Ⅱ	後期	梅田 力	オンラインということもあったが、アンケート回答率が非常に低かったので、アンケート実施の周知を徹底したい。講義としてはとても感触が良く、皆とても努力して、いい作品を作ってくれたと感じているので、尚更残念である。昨年、一昨年度のアンケート結果を踏まえて内容を吟味し、全体の分量を減らして、一つにかける時間を増やしたことで、1つ1つの作品のクオリティーが上がったと感じている。また、最終回に実施した各学生のプレゼンテーションはとても完成度が高かった。今後
デジタルデザインⅡ	後期	上坂 恒章	アンケートを2月18日の最終授業で回答を促したが、回答項目がなかったことにより回答率が下がっているのが要因である。この授業は演習科目であるので、対面が基本であるが、コロナ禍の影響でハイブリットを実施。こうした中でも満足度が高かった。
イラストレーション基礎Ⅱ	後期	佐藤 正人	概ね満足してくれている生徒が多かったので、良かったと思います。ただ今年は後期も対面授業と遠隔授業の併用でシラバス内容の変更や時間配分の調整が難しかったなど自分としても納得の行かない面もあり次期に修正して行きたいと思います。またもっと個人指導でそれぞれのスキルアップに繋がるアドバイスを十分指導出来なかった点もあり次年度には修正して行きたいと思います。
図学Ⅱ	後期	松岡 龍介	この科目は、将来、美術においては幾何学的な立体造形を創作するような事に興味のある学生や、プロダクトデザイナーやインダストリアル・デザイナーとして社会で活躍しようとする学生、あるいは、高校の美術教員（工芸）の教員として指導にあたることを希望する学生たちのための製図表現などにも対応し「図による表現」を応用してゆく科目です。誰にでも判りやすい内容で、クラスの進度に合わせて応用的な作図を学ぶ内容です。
洋画Ⅱ	後期	安田 祐造	これからもより良い授業を行えるように努めたいと思います。授業での指導は基本的なものですから、それをさらに進化発展させられるように、皆さんも積極的に研鑽してほしいものです。
イラストレーションⅣ	後期	佐藤 正人	約7割近い生徒が良く満足してくれていたのが内容的には良かったのだらうと思います。後期も対面授業と遠隔授業の併用だったので、こちらも思うように指導出来なかった点もあり次年度からの課題として取り組んで行きたい思います。課題内容についてもまだ検討の余地があるので、時代背景など現場を踏まえながらスキルが身につくような課題研究も進めて行きたいものです。
コンテンツデザインⅡ	後期	上坂 恒章	後期のコロナ禍の影響で対面、遠隔、ハイブリットの授業を展開した。この科目は、演習であり3年生後期であるので、予習、復習はもとより、個々の主体的な取り組みが求められる。ほとんどの学生は理解していたが、一部は理解不足があったので、今後は、そのことも視野に入れて改善していきたい。
彫刻Ⅱ	後期	梅田 力	本年度は、木彫（模刻）とソフトスカルプチャー（現代表現）の2課題とした。皆楽しそうに制作してくれたが、2課題だと少し時間が短かったように思うので、次年度は、課題や、作品サイズ等を再考して、余裕を持って一つ一つ丁寧に制作出来るようにしていきたい。
工芸実習Ⅳ	後期	梅田 力	興味・関心を持って制作に臨んでくれた。技法を学ぶことを重点を置いた場合、課題数を一つ増やしてもいいように感じた。課題のサイズや技法を検討し、出来るだけたくさんの方の技法に触れ、工芸の魅力を伝えていけるよう、工夫していきたい。
漫画Ⅳ	後期	五十嵐・鴨	オンライン授業により課題製作中は学生と個人通話で打ち合わせを行い、時間配分に気が回らず十分な指導ができなかったと感じた場面もあり反省すべき点ですが、学生からは全体的に高い評価とコメントをいただいております。今後、時間配分の配慮と個人の力に合わせた技術指導を目指します。

彫刻Ⅳ	後期	国松 明日香	今年はコロナ禍のため、対面授業、リモート授業、そしてその両方を交えての授業をしなければならなかった。アンケートにも指摘されているが、実技(立体作品制作)が主たる授業内容の性格のため、作品をカメラを通して確認することに限界があり、リモート授業の難しさを痛感した。その為、極力リモート授業ではパワーポイントを使った講義をすることになり、その結果実技に若干の遅れが出てしまい授業後半が慌ただしいものになったことは反省しなければならない。また、リモート授業ではネット回線の不具合なのかパワーポイントの画面が学生側のみフリーズし、それに気付かず授業を進めてしまったことがあった。受講学生は制作途中の作品を家に持って帰って制作したこともあり、不便を強いる結果となった。以上の観点からこの授業はなるべく学校での対面授業で行われることが望ましいと思う。
建築設計演習Ⅳ	後期	君 興治	授業改善点 今後は、各学生の理解度を個別に確認しながら授業を進めていくようにする。作業量が多い課題に対しては、個別に質問時間を設けるなどして時間配分を工夫する。
アクションプログラムⅥ	後期	君 興治	授業改善点 今後は、各学生の理解度を個別に確認しながら授業を進めていくようにする。作業量が多い課題に対しては、個別に質問時間を設けるなどして時間配分を工夫する。
美術科教育法Ⅱ	後期	梅田 力	美術科教育法2では、美術教員として、最低限身につけるべき知識を、教員採用試験で出題される問題を通じて学んでいる。これらの知識は、美術(系)大学を卒業する上でも知っておいて欲しい基礎的な内容である。範囲が広いので学生は苦勞をするが、その分美術という分野を幅広く俯瞰できるようになると考える。教授方法を再検討し、楽しくかつ有益な講義となるよう努力していきたい。
キャリア支援演習Ⅳ(就活等支援)	通年	大島 康雄	今後、就職活動される皆様にお役に立てたようであらうと思います。個人的にはスーツの着こなし方を学んだ時に社会人としても改めて勉強できる場所があった良い科目だと思いました。
保育実習指導Ⅱ	通年	吉江 幸子	コロナ禍の実習準備は学生自身も大変だったと思いますが、4年間の集大成として前に進んでくれました。そのことが就職活動に結び付いた学生もおり、みなさんの努力を感じ取りました。ありがとうございました。
保育実習指導Ⅱ	通年	吉江 幸子	コロナ禍の実習準備は学生自身も大変だったと思いますが、4年間の集大成として前に進んでくれました。そのことが就職活動に結び付いた学生もおり、みなさんの努力を感じ取りました。ありがとうございました。
スポーツ総合(B)	通年A	佐藤和・中川・三嶋・石井	今回は新型コロナウイルス対策のため、実技に関して距離間をあけての授業内容(ストレッチ、体操、補強運動)にしたため学生からは、面白くない内容かもしれなかった。次回は、興味をもって取り組める授業内容(いくつかの種目をグループ分けして学生たちに選択)を講じていきたいと考える。アクティブラーニング的な授業内容にしていきたい。
スポーツ総合(C)	通年A	佐藤和・中川・三嶋・石井	今年度は新型コロナウイルスの感染予防をしながらの授業のため、特に実技科目などで大変苦勞した。そのため個人種目、特にネット型の種目が多かったこともあり集団スポーツが出来なかったことなど、満足出来なかった学生も中にはいたのではないかとと思われる。今後学生の興味や関心など満足が得られるように努力工夫していきたい。
スポーツ総合(A)	通年A	市原・三嶋	学生は健康的に協調性をもって体を動かすことができた。引き続き感染症対策を含め、触れ合うことと距離を保つことのバランスに配慮して授業展開していく。
スポーツ総合(B)	通年A	市原・三嶋	肯定的な意見が多く、受講生にとって概ね満足のいく授業となったようで喜ばしく思っています。コロナ予防へ配慮しながらの授業でしたが、今後も今回のマネジメントを生かして授業ができればと思っています。
スポーツ総合(遠隔留学生用)	通年A	佐藤和・中川・小山・三嶋・市原・石井	留学生に興味を持って取り組んでもらえるよう、事前にアンケート調査しておくなど準備しておくとういことかと思う。それを考慮したうえでの授業内容にすればもっと積極的に参加してもらえるものかと考える。リモート授業では、一方的な授業になりがちなので、学生主体の形になるよう努力したい。
保育原理	通年A	中嶋 史	学生とコミュニケーションを大切に、保育に興味関心を持つよう授業を進めてきました。授業の中で実際の保育現場の事例をあげ子供や保護者の様子をイメージしながら一人の学生を考える場となるような授業改善を図りたい。
乳児保育Ⅰ	通年A	中嶋 史	学生とコミュニケーションを大切に、保育に興味関心を持つよう授業を進めてきました。授業の中で実際の保育現場の事例をあげ子供や保護者の様子をイメージしながら一人の学生を考える場となるような授業改善を図りたい。

球技Ⅰ（バスケットボール）	通年A	市原 英	基本的に肯定的な意見をいただいたので、評価していただいた点は今後も同授業、および他の授業でも継続していければと考えています。一方で、配布資料、教科書等の教材についての項目には否定的な意見もあったので、講義・実技科目ではないとはいえ工夫をして学生に授業内の目的や目標を明示できるような授業にできるよう改善に努めます。
球技Ⅳ（ソフトボール）	通年A	米野 宏	コロナの関係で、最後の2回は、課題を与えての授業となり、計画していた実技ができず、戻つばみとなった。コロナ問題は来年も起こりうるので、課題としてとらえた。
相談援助演習Ⅲ（保育）	後期集中	飯浜 浩幸	授業改善アンケートへのご協力を感謝いたします。次年度も「4年間の振り返りを行うことが出来、成長している部分も知ることができてとても充実した授業でした。」とのコメントをいただけるように、さらに工夫をしていきたいと思ひます。受講されたみなさまの子育て支援ソーシャルワーカーとしての活躍を祈念いたします。
保育実習Ⅱ	後期集中	吉江 幸子	コロナ禍の実習は学生自身も大変だったと思いますが、4年間の集大成として前に進んでくれました。そのことが就職活動に結び付いた学生もあり、みなさんの努力を感じ取りました。また、実習後の振り返りである報告会も、後輩のためになる内容となり、大変うれしく思っております、ありがとうございました。
専門演習ⅡB	後期集中	大島 康雄	ご指摘いただいた点に関して改善できるようにしたいです。コロナ禍での開催となり不慣れな点が目立ったと思ひます。その中で学ぶ機会の保障や質の担保が出来ていなかったと反省しております。質問事項を設けておきながら返答がなされていないことや複数教員で運営している点で連携の不十分さや学生に合わせた学習環境の整備や合理的配慮に欠けていたことを改善できるようにしていきたいです。
専門演習ⅡB	後期集中	吉江 幸子	コロナ禍の卒業執筆は大変だったと思ひますが、4年間の集大成として前に進んでくれました。各自が計画的に進めたことで、学事が変更となっても適応する姿がたくましく感じていました。ありがとうございました。
卒業論文	後期集中	大島 康雄	卒業論文を作成するにはお互いの忍耐力が必要かと思ひます。指導方法について、今後は改善できるようにしていきたいです。
卒業論文	後期集中	吉江 幸子	コロナ禍の卒業執筆は大変だったと思ひますが、4年間の集大成として前に進んでくれました。各自が計画的に進めたことで、学事が変更となっても適応する姿がたくましく感じていました。最後の口頭試問では、自分が何を書いて何を学んだかアウトプットする作業に取り組んでいただきましたが1～2回でクリアしました。辛いことも一つの思い出です、ありがとうございました。
専門研究ⅠB	後期集中	松岡 龍介	専門研究ⅠAの続きとして、あるいは、専門研究ⅠAを発展させて、美術やデザインについて考え、そして、創作するためのゼミナールとして、美術やデザインをより幅広く、さまざまな作品の歴史性や歴史的経緯と解釈すること。美術、あるいは、デザインという領域の文化としての側面などについて考えてもらいたいと思ひます。そして、将来の自分が如何に、何を、どのような姿勢や感覚で作品を創作することを考え実践する科目である。